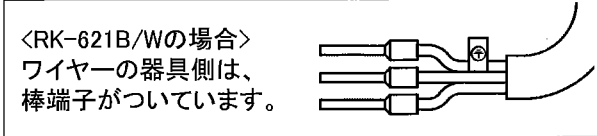
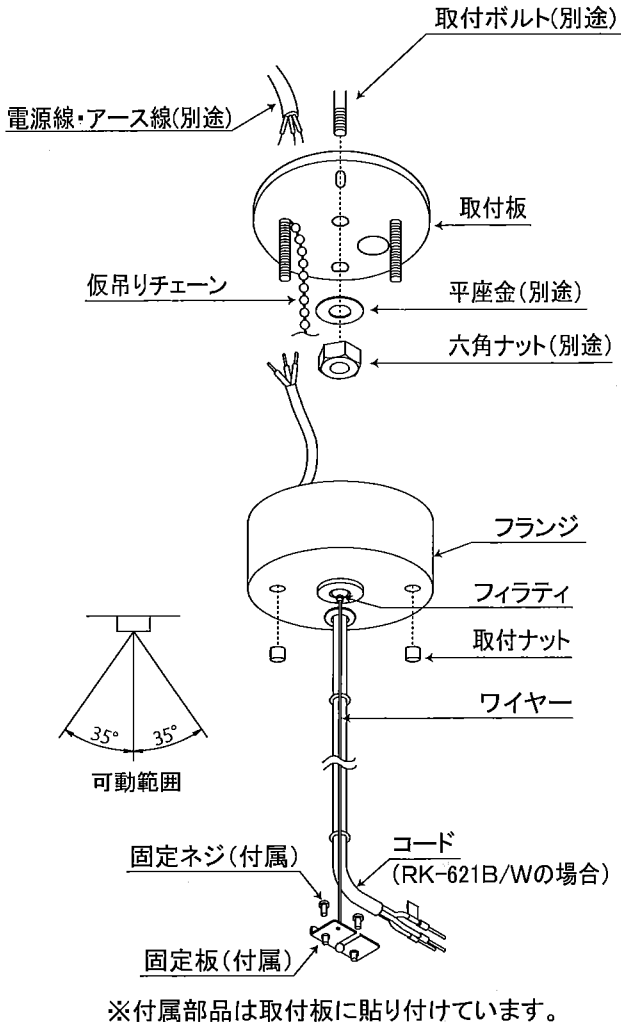


# [型番] RK-620B/W, RK-621B/W

## ◆各部の名称

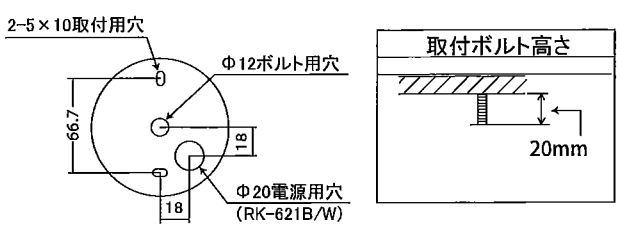
この図は一部省略抽象した共通部品図です。

- RK-621B/W, (給電付)
- RK-620B/W, (給電無)



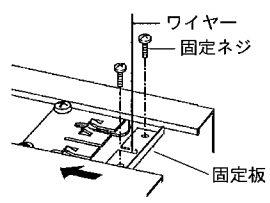
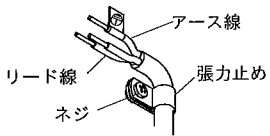
## ◆取付寸法

詳細については仕様図を参照してください。



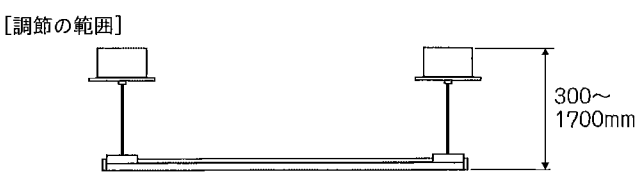
## ◆取付方法

- 安全確保の為、電源ブレーカーを遮断してください。  
⚠ 感電の原因となります。
- 電源用穴に電源線・アース線(別途)を引き込み、取付ボルトに取付板を平座金と六角ナットで取付けてください。  
吊具の取付ピッチは灯体の取扱説明書を参照してください。  
⚠ 取付けが不十分ですと、落下の原因となります。
- [RK-621B/Wの場合]  
電源線とコードを結線し、絶縁テープなどで確実に絶縁処理を行ってください。同時にアース線はD種接地工事を行ってください。接続容量は灯体の取扱説明書を参照してください。  
⚠ 接続不完全や容量オーバーの場合、火災・感電の原因となります。  
⚠ 電気設備技術基準で定められたD種接地工事を必ず行ってください。火事・感電となります。
- [RK-621B/Wの場合]  
張力止めに付いているネジを緩めてコード長さを調整した後、ネジをしっかり締めてください。  
⚠ 取付けが不十分ですと、落下の原因となります。
- フランジを取付板に取付ナットで固定してください。  
⚠ 取付けが不十分ですと、落下の原因となります。
- コードを灯体の口出し線に接続してください。  
接続方法は灯体の取扱説明書を参照してください。
- 別売の適合本体の取扱説明書を参照して適合本体を取付けてください。  
※固定板は、図の通りの方向に合わせて取付けてください。  
⚠ 取付方向が誤っていた場合、落下の原因となります。



## ◆ワイヤーの調節

- ワイヤーを短くする場合
  - ①ワイヤーをフィラティ内に押し込みます。
  - ②余ったコードはフレンジ内に収めてください。
- ワイヤーを長くする場合
  - ①少し余裕を持たせてコードをフレンジから引き出します。
  - ②解除ボタンを押し上げ、ワイヤーを引き出します。



※ワイヤーの調節時、コードをワイヤーより短くしないでください。